

「武家の女性」 山川菊栄著

240615 長島

1 山川菊栄さんについて(森まゆみ著「暗い時代の人々」より)

1890年(M23) 東京麹町生まれ

1915年(T4) 女子英学塾(津田塾)卒業後、神近市子氏の紹介で大杉栄氏に仏語を学ぶ。

1916年 「青鞥」デビュー(廃娼問題)、社会主義者・山川均氏と結婚

1917年 長男振作氏誕生(のち東大卒、医学研究者)

1918年 平塚らいてう氏、与謝野晶子氏らと「母性保護論争」

1921年 伊藤野枝氏らと「赤瀾会」結成

1923年 関東大震災(→神戸→鎌倉→藤沢へ)

1943年(53) 「武家の女性」出版(柳田國男氏の後押し)

1947年 労働省初代婦人少年局長

1980年 大往生(孫二人)

2 本書について

著者自身は、「武家の女性」の舞台である水戸で生活した形跡がない。

母親である千世氏からの聞き取り。でもリアル、とくに台詞の部分

3 水戸藩の幕末の内乱

(水戸光圀～1700年没、水戸藩2代藩主)

1829年 徳川斉昭(烈公：8代藩主) = 改革派(攘夷) VS 保守派(佐幕)

藤田東湖・武田耕雲斎・戸田忠太夫 「水戸の三田」

1853年 黒船来航

1864年 天狗党の筑波山拳兵・「子年の騒ぎ」常総野での騒乱

1866年 徳川慶喜(斉昭7男) 第15代将軍就任

1867年 大政奉還